

食料備蓄は 人数×1週間分

詳しくは
こちら


災害時の食料備蓄は最低でも人数×3日分、できれば1週間分が望ましく、普段食べている食品を多めに買って蓄え、食べた分を買い足すローリングストックが有効です。県では1月中旬から県内のスーパー・マーケット等と連携し、備蓄に適した食品を展示・販売する「ひょうご備蓄キャンペーン」を実施します。この機会にわが家の備蓄を見直しませんか。(県防災支援課)

問 県防災支援課
078-362-9226 F 078-362-4459



私のローリングストック
「我が家の備蓄(びちく)写真投稿
キャンペーン※」に届いた事例を紹介!
※本年度は実施していません

カレーが好きなので、
いろいろなレトルトカレーをストック。友人
からのお土産もあり、
消費しながら全国を
旅しています。



栄養面を考え、野菜を
取るために乾燥野菜
入りのみそ汁の素や
野菜ジュースをストックしています。

誰でも安心 災害時の段ボール製トイレ

豊岡市で作業着販売業を営んでおり、防災関連用品も扱っています。2024(令和6)年の能登半島地震の時は避難所のトイレ不足が課題となったことから、新商品として備蓄できるトイレを開発することに。取引先である市内の段ボールメーカー、(株)豊岡紙器の組み立て式トイレに、同じく市内のポリ袋メーカー、丸真化学工業(株)の防臭袋を合わせ、目隠し用のテントも加えました。座面の高さは

洋式トイレとほぼ同じ約40cmで、耐荷重200kgと強度も万全。高齢者が利用しやすいよう便座の両側に手すりをつきました。トイレの行き控えによるストレスや病気を防ぐためにも、自治体や自治会、企業に備蓄トイレの重要性、簡易性をアピールしていきたいと思います。
(作業服のコパックス代表 永澤賢作さん)



便座部分をプラスチック段ボールにした水に強いバージョンも。防災イベントにも積極的に出展し、PRしています。

左から丸真化学工業(株)社長の影井
庄三さん、永澤さん、(株)豊岡紙器社
長の小西晴久さん。「コンパクトな
ので場所を取らず、組み立ても簡単
です」と永澤さん。

詳しくは
こちら


問 作業服のコパックス
0796-28-3555
F 0796-28-3556



防災を学び 兵庫の魅力に 触れる旅へ

県では、阪神・淡路大震災などの経験や教訓を世代や地域を超えて継承するため、学校、企業、団体・グループ等を対象に防災学習と併せて兵庫の魅力に触れる「防災ツーリズム」を推進しています。兵庫県だから体感できる「防災」×「観光」の旅へ出かけましょう。
(県防災支援課)

問 県防災支援課
078-362-9062 F 078-362-4459

詳しくは
こちら


震災当時にタイムスリップ! 阪神・淡路大震災の歴史を学ぶプログラム

震災を想定した避難所体験、炊き出し体験、マイタイムライン(防災行動計画)の作成、新長田地区のまち歩きの中から組み合わせて体験します。

※最少催行人数15人

所 ふたば学舎(神戸市長田区) 定 体験により異なる
￥2,000円(体験時間2時間以内)、
3,000円(同2時間以上)
申 ④で同施設へ
078-646-8128 F 078-646-8138



城崎温泉復興の歴史から学ぶ CSRプログラム

北但大震災から住民主体で復興した城崎温泉の歴史を学び、企業のCSRや災害対応を考えます。その後は城崎温泉のまち歩きも。

※最少催行人数5人

所 豊岡市街地、城崎温泉 定 20人
￥ 内容や人数により異なる
申 ④で(一社)マチノイトへ
090-9206-3905

詳しくは
こちら


